



バングラデシュ

農業関連のスタートアップ

■ 調査日:2016年 10月

■ 場所:ダッカ

■ バングラデシュ人民共和国 People's Republic of Bangladesh

— 基礎データ —

- 面積:14万7,570平方キロメートル
- 人口:1億6,175万人 (2016/17年度 バングラデシュ統計局)
- 首都:ダッカ/人口約1,204万人 (2011年 統計局)
- 名目GDP総額:2,279億ドル (2016年 推定値)
- 1人当たりの名目GDP:1,411ドル (2016年 推定値)
- 実質GDP成長率:6.92% (2016年 推定値)
- 為替レート:1ドル≒ 78.47 バングラデシュ タカ (2016年 期中平均値、本文中は「タカ」と表記)



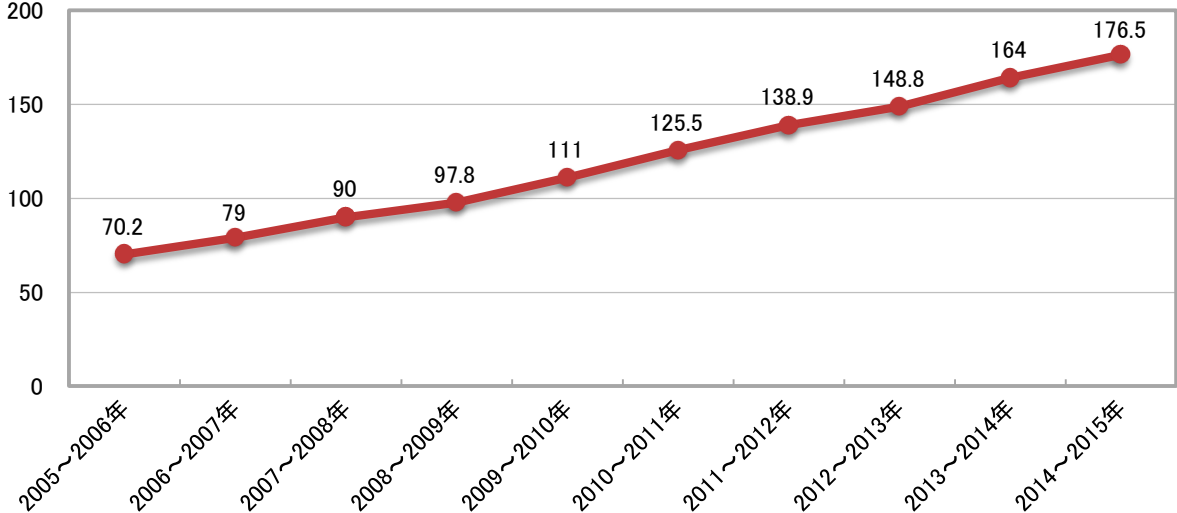
出所:JETROホームページ 国・地域別に見る「アジア バングラデシュ概況(2017年6月更新)」

農業市場の概要

農業はバングラデシュの経済成長において重要な役割を果たしている。農村部の住民の87%は、少なくとも何らかの形によって農業で収入を得ている。農業市場は成長し続けているが、さらなる投資が必要である。例えば、市場設備のグレードアップ、食品安全管理システムの改善、また、価値の高い商品を扱う企業が運転資本を活用できるように支援することなどである。こうしたことにより農業から得られる収入の増加、農業生産高の増加、また、農作物の栄養価の向上等が期待される。

(百億タカ)

【農林業におけるGDPの推移(時価)】



出所:バングラデシュ統計局

農業関連企業の紹介

〔企業名〕 Ajkerkrishi.com

●Ajkerkrishi.comは、農業と農法に関する情報やサービスをオンラインで提供する最初のサービスプロバイダーとして、2014年に設立。自社での農業投入品（種子、肥料、殺虫剤）の生産・製造販売に加え、他の代理店の製品も販売している。農業関連情報（農業、家畜、水産業、養鶏、屋上農園等）をウェブサイト、アプリケーション、ヘルプデスクを通じて提供し、農家や、農業ビジネスを始めることに興味がある若い起業家を支援している。現在、従業員は11名。

■ワンストップサービスの概要

●農業投入品の製造



ランブル地区とダッカ地区に15エーカーの土地を借り、農業投入品（種子、肥料、殺虫剤）を生産、製造している。必要に応じて、季節ごとに農民を雇用している。

●農業投入品の販売



自ら製造した農業投入品（種子、肥料、殺虫剤）や代理店の製品を、独自のネットワークを通じて販売する。代理店は、Ajkerkrishi.comに入会すると、Ajkerkrishiのネットワークを通じての製品の流通や販売にサポートが受けられる。Ajkerkrishiは、こうしたサプライチェーンを維持するためのサービスに対して、マージンを得る仕組みを取っている。

●屋上農園への支援



「BDgardeners」と名付けられたプロジェクトは、都市部を中心とした社会事業計画である。Ajkerkrishi.comは屋上農園に対し、農業投入品を販売したり、技術サービスを提供したりする。顧客がAjkerkrishiに農園を管理してもらいたい場合、毎月手数料を支払い、外注することができる。

●ヘルプデスク



ダッカにヘルプデスクを設置し、農業情報に関する質問を面談や電話で受け付けている。また農家は問題点を撮影した写真を送ることで、それに対する解決策を得ることができる。ヘルプデスクでは、農業投入品の販売も行なっている。

●情報やテクニカルサポートの提供



テクニカルサポートにより新しい農機を導入



1. バングラデシュ全国から農業に関する革新的な情報を収集、公開。
2. 現代的な農業技術の促進、セミナーや研修を通じての農業における協力の拡大。
3. 農業を始めたいと考える起業家や企業に対する技術支援の提供。
4. 農作物被害からの回復に向けた協力。
5. 土壌の健康状態の試験と肥料散布に関する支援の提供。
6. モバイルアプリを通じたe-Agricultureサービスの提供による、農家が抱える問題の解決。
7. 関連セミナーや研修の運営。

農業関連企業の紹介

〔企業名〕 **Ajkerkrishi.com** —つづき—

■ 起業の経緯

バングラデシュの農家では、さまざまな害虫や病害による農作物への被害、仲介者の関係等農業を営む際に多くの問題に直面する。Ajkerkrishi.comの設立者たちは、効率の良い農業を行なうために必要な助言や正確な情報を適切なタイミングで得ることができず、農作物の生産が落ち込んでいると考えた。このため情報技術を活用し、適切なタイミングで正しい情報を農民に提供することを目的に「AjkerKrishi(「現代の農業」の意)」というスタートアップを設立した。

■ 資金源

5人のボードメンバーが自己資金でスタート。2016年9月までの投資額は約120万タカである。

■ ユニークな点

- 農業投入品の販売や、技術支援や解決策の提供により、質の高い農作物を生産できるようにしている。
- ウェブサイトやアプリはすべてベンガル語で開発されており、農民がすぐに理解できるようになっている。

■ 今後の計画

Ajkerkrishi.comは、農民に対してワンストップのソリューションを提供したいと考えている。現時点では、情報提供によって農作物を生産する支援を行なっているが、将来的にはアリババのように買い手と売り手(農家)とが1つのプラットフォームで出会える、マーケットプレイスを設立する計画を立てており、現在、「Krishistore」という名称でその開発が進められている。また、Ajkerkrishi.comで独自に小売店を開設して、新鮮で安全な農作物が容易に購入できるようにするという計画もある。



Uddokta Hat※(左:2013年)とBASIS(右:2015年)からの受賞歴がある。

※起業家フェアの1種。バングラデシュ・オープンソース・ネットワーク(BDOSN)やFacebookのグループである「Chakri khujbona chakri debo(求職から創業へ)」が共同で「Uddokta Hat」を組織している。

〔企業名〕 **Direct Fresh**

- Direct Freshは、高級食品を扱う事業をダッカで展開しており、品質を重視した生産から、顧客の玄関まで配送する、ワンストップのソリューションを提供している。

■ サービスの概要

① 農作物の供給源

Direct Freshは、信頼できる農家や漁師とのネットワークを活用して、安全な商品を生産・仕入れている。またマニクガンジ(Manikganj)県で、自社の野菜生産のための農場を運営している(広さは17エーカー[約7ヘクタール])。自社の生産施設以外にも、ジョソール(Jessore)県の野菜や、サトキラ(Satkhira)県の魚など、バングラデシュ国内のさまざまな生産地から農産物を仕入れている。また、チーズ、肉、無農薬野菜、魚、フルーツなどの高級品をさまざまな国から輸入している。



マニクガンジ県での野菜生産の様子

② 自社の輸送用トラックにてダッカへ輸送

JETRO

農業関連企業の紹介

〔企業名〕 Direct Fresh —つづき—

■ サービスの概要 —つづき—

③ 倉庫での品質チェック

調達したすべての生産物は集められた後、ガブトリ(Gabtoli)地区の倉庫で等級別に分類され、レモン湯を使用した洗浄処理プロセスによる残留殺虫剤の除去を行っている。

またこの倉庫には、過剰供給野菜を短期間保管するための容量20トンの冷却庫が設置されている。



野菜の洗浄作業(ガブトリ地区の倉庫)

④ 顧客への配送

Direct Freshでは、小売業者、ホテル、レストラン、学校や病院の他、オンラインの消費者や、ボナニ(Banani)地区にあるピックアップポイントに野菜を配送している。現在は、およそ1,000~2,000世帯の顧客に毎月配送を行なっている。事業所向けには、Agora、ACI、Shwapno、Dhali、Lavender、Apollo hospital、ウェスティン・ラジソン・ホテル、アメリカン・クラブやダッチ・クラブなど、さまざまな場所に供給をしている。またRenata PharmaceuticalsやChevronとは、傷みやすい食品を供給する契約が結ばれている。



出荷作業(ガブトリ地区の倉庫)

■ 起業の経緯

Direct Freshは、2012年にバングラデシュ人1人と外国人2人の取締役により法人化された会社である。2人の外国人であるSamuel Bretzfield氏とEdward Bearnot氏は、バングラデシュで新鮮なサラダが食べられないこと、輸入品の価格が高いことにひどく驚かされた。ダッカの市場は通路が混み合い、食品は品揃えが乏しく、すぐに賞味期限がきてしまう等、品質管理に問題があることを知り、ダッカの地元の市場やスーパーマーケットチェーンで食料雑貨を購入する際の不満を解決するためにDirect Freshを設立した。

■ 資金源

Direct Freshを設立する前に、Mishal Karim氏とSamuel Bretzfield氏は共同で、BGlobal Interactiveを2005年に設立し、バングラデシュのソフトウェア、ウェブサイト、モバイルアプリのアウトソーシング部門での中心的な存在となるまでに成長を遂げた。Direct Freshは、BGlobal Interactiveの手持ちの準備金を流用するとともに、親会社(BGlobal Interactive)の株式と資産を担保として、銀行から融資を受けて設立された。

■ ユニークな点

- Direct Freshの倉庫はバングラデシュでは珍しく、60トン以上を貯蔵可能な冷蔵庫と冷凍庫が併設されている。広さ6,000平方フィート(約560m²)の乾燥貯蔵所、4,000平方フィート(約370m²)の処理施設とパッケージング施設のほか、新鮮な果物や野菜に使用する温水処理施設が設置されている。
- Direct Freshは、商品調達専用の車両と配送用の冷蔵/バン6台を所有している。最も困難だった物流への対応として、独自の冷凍貯蔵によるコールドチェーンを確立し、配送用トラックを配備した。
- マニクガンジで、自社のモデルファームを経営し、40種類を超える完全無農薬野菜を栽培、販売している。この会社の商品はすべて、ホルマリン、カーバイドなどの発がん性の工業薬品を一切使用していないことが保証されている。



Direct Freshのオンラインストア。原産国や栄養価など商品情報が記載されている。

農業関連企業の紹介

〔企業名〕 **Direct Fresh** —つづき—

■ 今後の計画

Direct Freshでは、国内外の食品生産者や輸入業者等のネットワークを活用して、消費者に高級食材を提供している。顧客が100%満足し、よりおいしい食事を毎日楽しめるようにしたいと考えている。

今後、主に下記4つについて計画を立てている。

- ①少し値が張っても質の高い商品を扱っていることを売りにしており、ダッカ市内のBtoBの顧客や富裕層向け市場を主なターゲットとしているが、近い将来には、ダッカの中間層も対象としたいと考えている。
- ②中所得層向けのオンラインショップを導入する計画がある。
- ③ダッカ市内の2つの会社と契約を締結する段階にあり、ダッカ市内に新鮮な食品の販売拠点50店舗を出店することを目指している。
- ④マンゴーや野菜など特定の農作物を、EU、マレーシア、バーレーン、アラブ首長国連邦、カタールに輸出することを計画している。

〔企業名〕 **AG Agro Industries Ltd.**

- AG agro Industries Ltd.は、主に質の高い飼料とひな鳥（採卵用および採肉用）の生産を行なっている。2011年に、バングラデシュの大手コングロマリットであるAHSANグループの姉妹会社として設立された。AG Agro Industriesは短期間のうちに成長を遂げ、大手飼料会社の一つに数えられるようになった。

■ 事業の概要

● 飼料工場

AG agro Industries Ltd.には、ガジプール(Gazipur)県スリープール(Sreepur)のAzugichalaと同県カリアコイル(Kaliakoir)のDoanichalaの2カ所に飼料工場部門を設置している。これらの飼料工場では、質の高い飼料を1時間で33トン生産する能力がある。



飼料工場(ガジプール)

● 養鶏場およびふ化場

〔養鶏場〕8万8,000羽を所有でき、家禽類を健康に飼育し、

病気のないふ化卵を生産するため、3段階のバイオセキュリティ対策と検疫システムを導入している。

〔ふ化場〕離れたエリアにあり、世界的に有名なChick Master IncubatorとCC3システムが導入されている。1週間で、19万羽の初生ひなをふ化させることが可能である。ふ化場では2段階のバイオセキュリティシステムを導入しており、病気のない、高品質のひなを生産している。

■ サービスの概要

AG Agro Industries Ltdでは、質の高い養鶏飼料等と初生ひな(DOC: Day Old Chicks)の生産と販売を行なっている。生産ブランド名は「A1 Chicks & Feeds」である。

● 配送サービス

ボグラ、ナトール、ナルシングディ、クミツラおよびファリドプルの5つの県の都市に配送所を設置している。

● 技術サービス

経験豊富な技術サービスチームを設置し、養鶏家を対象として、定期的な養鶏場訪問、病気の診断と治療法の提案などのサービスを提供している。

● 農業研修と育成

養鶏家を対象とした研修やセミナーを定期的実施して、養鶏場経営、育雛管理、冬場の管理、鶏舎のカーテンの管理、採卵養鶏の管理など養鶏に関するさまざまな管理方法を教えている。

農業関連企業の紹介

〔企業名〕 **AG Agro Industries Ltd.** ーつづきー

■ サービスの概要 ーつづきー

● 独立した研究室と研究開発

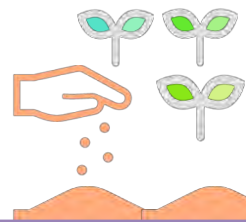
原材料や最終製品の品質を保証するための独立した研究施設を各々設置している。また、採肉用と採卵用の両方の養鶏を行なう研究開発養鶏場も設置している。この会社の最終製品は、養鶏家に最高の状態で提供するため、まず研究開発養鶏場で検証を受け、その後市場で販売される。



養鶏家を対象とした研修会

■ 今後の計画

AG Agro Ltd.では、今後短期間のうちに、バングラデシュ国内のすべての主要都市に配送所を設置する計画である。また、家禽の病気の早期検知および監視を可能にするための、世界でも指折りの診断研究室サービスや専門知識を通じて病気の診断を行なうことで、養鶏家、養鶏業界、獣医を支援することを目指している。そして将来的には、市場の需要と供給のバランスを維持するための原種鶏養鶏場の設置を計画している。



JETRO

【免責事項】本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。ジェトロでは、できるかぎり正確な情報の提供を心掛けておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロおよび執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。